

# 特許協力条約

PCT

REC'D 25 AUG 2005

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)

[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 NEC04P061	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/007514	国際出願日 (日.月.年) 01.06.2004	優先日 (日.月.年) 10.06.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> H04Q7/22, 7/28		
出願人 (氏名又は名称) 日本電気株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
  - ☒ 附属書類は全部で 19 ページである。
    - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
    - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
  - ☐ 電子媒体は全部で \_\_\_\_\_ (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
  - ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
  - ☐ 第II欄 優先権
  - ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
  - ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
  - ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
  - ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
  - ☐ 第VII欄 国際出願の不備
  - ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 14.01.2005	国際予備審査報告を作成した日 15.08.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 高橋 宣博	5 J 9374
電話番号 03-3581-1101 内線 3536		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月).

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
☐ PCT規則12.4にいう国際公開  
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-34 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2-9, 11, 13, 15-18, 22, 23, 25, 27, 32, 37, 44-47, 50, 53, 54, 56, 58 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
第 1, 10, 12, 14, 21, 24, 26, 31, 33-36, 38-43, 52, 55, 57 \_\_\_\_\_ 項\*、14.01.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの  
第 19, 20, 29, 30, 48, 49, 60, 61 \_\_\_\_\_ 項\*、25.07.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-9 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 28, 51, 59 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-27, 29-50, 52-58, 60, 61	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲 1-27, 29-50, 52-58, 60, 61	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-27, 29-50, 52-58, 60, 61	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

請求の範囲1-27, 29-50, 52-58, 60, 61について  
請求の範囲1-27, 29-50, 52-58, 60, 61に記載された「前記所  
定の期間にのみ前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データがともに前記画  
像データ受信装置にて受信される」構成が国際調査報告に引用されたいずれの文献に  
も記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

## 請求の範囲

- [1] (補正後) 複数の同一動画像データを所定の時間差を付けて順次配信する画像データ配信装置と、

複数の無線エリアを移動しながら、前記画像データ配信装置から配信された動画像データを受信する画像データ受信装置とを有し、

前記画像データ受信装置は、現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時は、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを所定の期間にわたって受信し、該受信した動画像データから必要なデータを選択して1つの動画像データに再構成し、

前記画像データ配信装置は、前記所定の期間にのみ前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データがともに前記画像データ受信装置にて受信されるように優先制御を行うことを特徴とする画像データ通信システム。

- [2] 前記複数の同一動画像データは、同一の画像データを同一の符号化方式で符号化した複数の画像符号化データであることを特徴とする、請求項1に記載の画像データ通信システム。

- [3] 前記画像データ配信装置は、少なくとも前記所定の期間において、前記複数の同一画像符号化データを所定の時間差をつけて伝送路上に順次送出するとともに、該送出に際して前記再構成に必要な情報を前記複数の同一画像符号化データにそれぞれ付与する画像符号化データ送信手段を有し、

前記画像データ受信装置は、

前記画像符号化データ送信手段から前記伝送路を介して前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データを受信する画像符号化データ受信手段と、

画像符号化データ受信手段にて受信された前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データを、該画像符号化データに付与されている前記再構成に必要な情報を参照して1つの画像符号化データに再構成する再構成手段とを有することを特徴とする、請求項2に記載の画像データ通信システム。

- [4] 前記画像データ配信装置は、前記画像符号化データ送信手段から送出される、前

記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データに対して、前記伝送路における所定の制御の設定を行う制御手段をさらに有し、

前記制御手段が、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複

記ハンドオーバーの開始および終了を判断し、該ハンドオーバーの期間と前記終了から所定の時間を経過するまでの期間を含めた期間を前記所定の期間として前記所定の制御の設定を行うことを特徴とする、請求項4に記載の画像データ通信システム。

- [8] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御であることを特徴とする、請求項4から7のいずれか1項に記載の画像データ通信システム。
- [9] 前記制御手段は、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項8に記載の画像データ通信システム。
- [10] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の一部である無線伝送路における電力制御であることを特徴とする、請求項4から9のいずれか1項に記載の画像データ通信システム。
- [11] 前記制御手段は、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項10に記載の画像データ通信システム。
- [12] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路上で送信される画像符号化データのビットレートであることを特徴とする、請求項4から11のいずれか1項に記載の画像データ通信システム。
- [13] 前記制御手段は、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、前記所定の画像符号化データに関する前記ビットレートを他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記ビットレートを前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化デ

ータに関する前記ビットレートを前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項12に記載の画像データ通信システム。

- [14] (補正後) 同一の画像データを同一の符号化方式で符号化した複数の画像符号化データを所定の時間差を付けて伝送路上に順次配信する画像データ配信装置と、  
現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時は、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の画像符号化データを所定の期間にわたって受信し、該受信した画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成する画像データ受信装置と、

前記伝送路の一部である無線伝送路の状態を監視し、前記無線伝送路の状態に応じて、前記画像データ配信装置から配信される、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データに対して、前記伝送路における所定の制御の設定を行う無線網監視装置とを有し、

前記無線網監視装置が、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データが前記画像データ受信装置にて優先して受信されるように前記所定の制御を設定し、前記所定の期間は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データがともに前記画像データ受信装置にて受信されるように前記所定の制御を設定することを特徴とする画像データ通信システム。

- [15] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御であることを特徴とする、請求項14に記載の画像データ通信システム。

- [16] 前記無線網監視装置は、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項15に記載の画像データ通信システム。

- [17] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の無線伝送路における電力制御であること

を特徴とする、請求項14に記載の画像データ通信システム。

- [18] 前記無線網監視装置は、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項17に記載の画像データ通信システム。

- [19] (補正後) 同一の画像データを同一の符号化方式で符号化した複数の画像符号化データを所定の時間差を付けて順次配信する画像データ配信装置と、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時は、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の画像符号化データを所定の期間にわたって受信し、該受信した画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成する画像データ受信装置とを有し、

画像データ配信装置は、少なくとも前記所定の期間において、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データをマルチ／ブロードキャスト配信する画像符号化データ送信手段を有し、

前記画像データ受信装置は、前記所定の期間に、前記複数の符号化データのうちマルチ／ブロードキャスト・トラフィックを前記所定の期間を除く通常時より多く受信するように構成されていることを特徴とする画像データ通信システム。

- [20] (補正後) 同一の画像データを同一の符号化方式で符号化した複数の画像符号化データを所定の時間差を付けて順次配信する画像データ配信装置と、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時は、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の画像符号化データを所定の期間にわたって受信し、該受信した画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成する画像データ受信装置とを有し、



画像データ配信装置は、少なくとも前記所定の期間において、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データをマルチキャスト配信する画像符号化データ送信手段を有し、

前記画像データ受信装置は、前記所定の期間に、前記複数の符号化データのマルチキャスト・グループに前記所定の期間を除く通常時より多く参加するマルチキャスト・グループ参加／離脱手段を有することを特徴とする画像データ通信システム。

[21] 複数の無線エリアを移動する画像データ受信装置と伝送路を介して通信可能に接続される画像データ配信装置であって、

同一の画像データを符号化した複数の同一画像符号化データを生成する画像符号化データ生成手段と、

前記画像符号化データ生成手段で生成された複数の同一画像符号化データを、所定の時間差を付けて前記伝送路上に順次送出する画像符号化データ送信手段と、

前記画像データ受信装置が現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時における所定の期間にのみ、前記画像符号化データ送信手段から送出される、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データが所定の期間にわたっ

て前記画像データ受信装置にて受信されるように、前記伝送路における所定の制御の設定を行う制御手段とを有する画像データ配信装置。

[22] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御であることを特徴とする、請求項21に記載の画像データ配信装置。

[23] 前記制御手段は、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項22に記載の画像データ配信装置。

[24] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の一部である無線伝送路における電力制御であることを特徴とする、請求項21から23のいずれか1項に記載の画像データ配信装置。

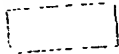
[25] 前記制御手段は、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項24に記載の画像データ配信装置。

[26] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路上で送信される画像符号化データのビットレートであることを特徴とする、請求項21から25のいずれか1項に記載の画像データ配信装置。

[27] 前記制御手段は、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記ビットレートを他の画像符号化データより高く設定し、前記所定の期間は、前記第1の画像符号化データに関する前記ビットレートを前記通常時より低くするとともに

、前記他の画像符号化データに関する前記ビットレートを前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項26に記載の画像データ配信装置。

[28]



[29] (補正後) 同一の画像を符号化した複数の同一画像符号化データを所定の時間差を付けてそれぞれマルチ／ブロードキャスト配信する画像データ配信装置と伝送路を介して通信可能に接続される画像データ受信装置であって、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する同一画像符号化データを所定の期間にわたって受信する画像符号化データ受信手段と、

前記所定の期間にわたって受信した前記所定の時間差を有する同一画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成するデータ再構築手段とを有し、

前記所定の期間に、前記複数の符号化データのマルチ／ブロードキャスト・トラヒックを前記所定の期間を除く通常時より多く受信するように構成されている画像データ受信装置。

[30] (補正後) 同一の画像を符号化した複数の同一画像符号化データを所定の時間差を付けてそれぞれマルチキャスト配信する画像データ配信装置と伝送路を介して通信可能に接続される画像データ受信装置であって、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する同一画像符号化データを所定の期間にわたって受信する画像符号化データ受信手段と、

前記所定の期間にわたって受信した前記所定の時間差を有する同一画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成するデータ再構築手段と、

前記所定の期間に、前記複数の符号化データのマルチキャスト・グループに前記所定の期間を除く通常時より多く参加するマルチキャスト・グループ参加／離脱手段とを有する画像データ受信装置。

[31] 画像データ配信装置と画像データ受信装置が伝送路を介して通信可能

に接続された通信システムにおいて行われる画像データ通信方法であって、

前記画像データ配信装置が、画像データ受信装置に対して、複数の同一動画像データを所定の時間差を付けて順次配信する第1のステップと、

前記画像データ受信装置が、現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを所定の期間にわたって受信し、該受信した動画像データから必要なデータを選択して1つの動画像データに再構成する第2のステップと、

前記画像データ配信装置が、前記所定の期間にのみ前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データがともに前記画像データ受信装置にて受信されるように優先制御を行う第3のステップとを含むことを特徴とする画像データ通信方法。

[32] 前記第1のステップは、前記画像データ配信装置が、前記複数の同一動画像データの送出に際して前記再構成に必要な情報を前記複数の同一動画像データのそれぞれに付与するステップを含み、

前記第2のステップは、前記画像データ受信装置が、前記所定の期間に前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを、該動画像データに付与されている前記再構成に必要な情報を参照して1つの動画像データに再構成するステップを含むことを特徴とする、請求項31に記載の画像データ通信方法。

[33] 前記第3のステップは、

前記画像データ配信装置が、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、少なくとも所定の動画像データが前記画像データ受信装置にて優先して受信されるように前記伝送路における所定の制御を設定するステップと、

前記画像データ配信装置が、前記所定の期間は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データがともに前記画像データ受信装置にて受信されるように前記所定の制御を設定するステップとを含むことを特徴とする、請求項31に記載の画像データ通信方法。

[34] (補正後) 前記第2のステップは、

前記画像データ受信装置が、前記動画像データの受信状態より前記ハンドオーバの開始および終了を判断するステップと、

前記画像データ受信装置が、前記ハンドオーバの開始時に開始通知を前記画像データ配信装置に送信するとともに、前記ハンドオーバの終了から所定の時間を経過した後に終了通知を前記画像データ配信装置に送信するステップとを含み、

前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記開始通知を受信してから

前記終了通知を受信するまでの期間を前記所定の期間として前記所定の制御の設定を行うステップを含むことを特徴とする、請求項33に記載の画像データ通信方法。

[35] (補正後) 前記第2のステップは、

前記画像データ受信装置が、前記動画像データの受信状態より前記ハンドオーバの開始および終了を判断するステップと、

前記画像データ受信装置が、前記ハンドオーバの開始時に前記所定の制御の設定を変更する旨の第1の要求を前記画像データ配信装置に送信し、前記ハンドオーバの終了から所定の時間を経過した後に、前記所定の制御の設定を変更する旨の第2の要求を前記画像データ受信装置に送信するステップとを含み、

前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記第1の要求を受信してから前記第2の要求を受信するまでの期間を前記所定の期間として前記所定の制御の設定を行うステップを含むことを特徴とする、請求項33に記載の画像データ通信方法。

[36] (補正後) 前記第2のステップは、前記画像データ受信装置が、前記動画像データの受信状況を所定の間隔で前記画像データ配信装置に報告するステップを含み、

前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記画像データ受信装置からの受信状況の報告に基づいて、前記ハンドオーバの開始および終了を判断し、該ハンドオーバの期間と前記終了から所定の時間を経過するまでの期間を含む期間を前記所定の期間として前記所定の制御の設定を行うステップを含むことを特徴とする、請求項33に記載の画像データ通信方法。

[37] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御であることを特徴とする、請求項33から36のいずれか1項に記載の画像データ通信方法。

[38] (補正後) 前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、前記所定の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を他の動画像データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定するステップを含むことを特徴とする、請求項37に記載

の画像データ通信方法。

- [39] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の無線伝送路における電力制御であることを特徴とする、請求項33から38のいずれか1項に記載の画像データ通信方法。
- [40] (補正後) 前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、前記所定の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を他の動画像データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定するステップを含むことを特徴とする、請求項39に記載の画像データ通信方法。
- [41] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路上で送信される画像符号化データのビットレートであることを特徴とする、請求項33から40のいずれか1項に記載の画像データ通信方法。
- [42] (補正後) 前記第3のステップは、前記画像データ配信装置が、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、前記所定の動画像データに関する前記ビットレートを他の動画像データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の動画像データに関する前記ビットレートを前記通常時より低くするとともに、前記他の動画像データに関する前記ビットレートを前記通常時より高く設定することを特徴とする、請求項41に記載の画像データ通信方法。
- [43] (補正後) 画像データ配信装置と画像データ受信装置が伝送路を介して通信可能に接続された通信システムにおいて行われる画像データ通信方法であって、  
前記画像データ配信装置が、画像データ受信装置に対して、複数の同一動画像データを所定の時間差を付けて順次配信する第1のステップと、  
前記画像データ受信装置が、現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを所定の期間にわたって受信し、該受信した動画像データから必要なデータを選択して1つの動画像データに再構成

する第2のステップと、

前記伝送路の一部である無線伝送路の状態を監視する無線網監視装置が、前記無線伝送路の状態に応じて、前記画像データ配信装置から送出される同一動画像データに対して、前記伝送路における所定の制御の設定を行う第3のステップと、

前記無線網監視装置が、前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、少なくとも所定の動画像データが前記画像データ受信装置に優先して受信されるように前記所定の制御を設定し、前記所定の期間は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データがともに前記画像データ受信装置にて受信されるように前記所定の制御を設定することを特徴とする第4のステップとを含むことを特徴とする画像データ通信方法



- [44] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御であることを特徴とする、請求項43に記載の画像データ通信方法。
- [45] 前記無線網監視装置が、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、前記所定の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を他の動画像データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の動画像データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項44に記載の画像データ通信方法。
- [46] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の無線伝送路における電力制御であることを特徴とする、請求項43に記載の画像データ通信方法。
- [47] 前記無線網監視装置が、前記通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのうち、前記所定の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を他の動画像データより高く設定し、前記所定の期間は、前記所定の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の動画像データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項46に記載の画像データ通信方法。
- [48] (補正後) 画像データ配信装置と画像データ受信装置が伝送路を介して通信可能に接続された通信システムにおいて行われる画像データ通信方法であって、  
前記画像データ配信装置が、複数の同一動画像データを所定の時間差を付けて順次配信する第1のステップと、  
前記画像データ受信装置が、現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを所定の期間にわたって受信し、該受信した動画像データから必要なデータを選択して1つの動画像データに再構成する第2のステップとを含み、  
前記第1のステップは、前記画像データ配信装置が、前記所定の時間差を有する

複数の同一動画像データのそれぞれをマルチ／ブロードキャスト配信するステップを含み、

前記第2のステップは、前記画像データ受信装置が、前記所定の期間に、前記複数の同一動画像データのマルチ／ブロードキャスト・トラヒックを前記所定の期間を除く通常時多く受信するステップを含むことを特徴とする画像データ通信方法。

[49] (補正後) 画像データ配信装置と画像データ受信装置が伝送路を介して通信可能に接続された通信システムにおいて行われる画像データ通信方法であって、

前記画像データ配信装置が、画像データ受信装置に対して、複数の同一動画像データを所定の時間差を付けて順次配信する第1のステップと、

前記画像データ受信装置が、現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、前記画像データ配信装置から配信された前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データを所定の期間にわたって受信し、該受信した動画像データから必要なデータを選択して1つの動画像データに再構成する第2のステップとを含み、

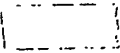
前記第1のステップは、前記画像データ配信装置が、前記所定の時間差を有する複数の同一動画像データのそれぞれをマルチキャスト配信するステップを含み、

前記第2のステップは、前記画像データ受信装置が、前記所定の期間に、前記

複数の同一動画像データのマルチキャスト・グループに前記所定の期間を除く通常時より多く参加するステップを含むことを特徴とする画像データ通信方法。

- [50] 前記複数の同一動画像データは、同一の画像データを同一の符号化方式で符号化した複数の画像符号化データであることを特徴とする、請求項31から49のいずれか1項に記載の画像データ通信方法。

[51]



[52]

複数の無線エリアを移動するクライアント端末と伝送路を介して通信可能に接続されるサーバに用いられるプログラムであって、

同一の画像データを符号化した複数の同一画像符号化データを生成する第1の処理と、

前記第1の処理で生成した複数の同一画像符号化データを、所定の時間差を付けて前記伝送路上に順次送出する第2の処理と、

前記クライアント端末が現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時における所定の期間にのみ、前記第2の処理で送出される、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データが前記クライアント端末にて受信されるように、前記伝送路における所定の制御の設定を行う第3の処理とを前記サーバのコンピュータに実行させるプログラム。

- [53] 前記所定の制御の設定が、前記伝送路におけるルーティングの優先度制御である

ことを特徴とする、請求項52に記載のプログラム。

- [54] 前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を他の画像符号化データより高く設定する処理と、

前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記ルーティングの優先度を前記通常時より高く設定する処理とをさらに前記サーバのコンピュータに実行させることを特徴とする、請求項53に記載のプログラム。

- [55] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路の一部である無線伝送路における電力制御であることを特徴とする、請求項52から54のいずれか1項に記載のプログラム。

- [56] 前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を他の画像符号化データより高く設定する処理と、

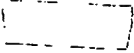
前記所定の期間は、前記所定の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記無線伝送路における電力を前記通常時より高く設定する処理とをさらに前記サーバのコンピュータに実行させることを特徴とする、請求項55に記載のプログラム。

- [57] (補正後) 前記所定の制御の設定が、前記伝送路上で送信される画像符号化データのビットレートであることを特徴とする、請求項52から56のいずれか1項に記載のプログラム。

- [58] 前記所定の期間を除く通常時は、前記所定の時間差を有する複数の同一画像符号化データのうち、少なくとも所定の画像符号化データに関する前記ビットレートを他の画像符号化データより高く設定する処理と、

前記所定の期間は、前記第1の画像符号化データに関する前記ビットレートを前記通常時より低くするとともに、前記他の画像符号化データに関する前記ビットレートを前記通常時より高く設定する処理とをさらに前記サーバのコンピュータに実行させることを特徴とする、請求項57に記載のプログラム。

[59]



[60]

(補正後) 同一の画像を符号化した複数の同一画像符号化データを所定の時間差を付けてそれぞれマルチ／ブロードキャスト配信するサーバと伝送路を介して通信可能に接続されるクライアント端末に用いられるプログラムであって、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、所定の期間にわたって、前記サーバから配信された前記複数の符号化データのマルチ／ブロードキャスト・トラヒックを当該所定の期間以外の期間より多く受信する処理と、

前記所定の期間に受信した同一画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成する処理とを前記クライアント端末のコンピュータに実行させるプログラム。

[61]

(補正後) 同一の画像を符号化した複数の同一画像符号化データを所定の時間差を付けてそれぞれマルチキャスト配信するサーバと伝送路を介して通信可能に接続されるクライアント端末に用いられるプログラムであって、

現在の無線エリアから隣接する他の無線エリアへ移動する際に生じるハンドオーバー時に、所定の期間にわたって、前記複数の符号化データのマルチキャスト・グループに当該所定の期間以外の期間より多く参加する処理と、

前記所定の期間に受信した同一画像符号化データから必要なデータを選択して1つの画像符号化データに再構成する処理とを前記クライアント端末のコンピュータに実行させることを特徴とする

プログラム。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☒ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**